

下電所属車輛の決まりです。規格外車輛は公開運転時入線できません。

※下電では鉄道線と軌道線を予定しております。ただし、現在軌道線規格は未定ですので鉄道線規格のみ記載します。

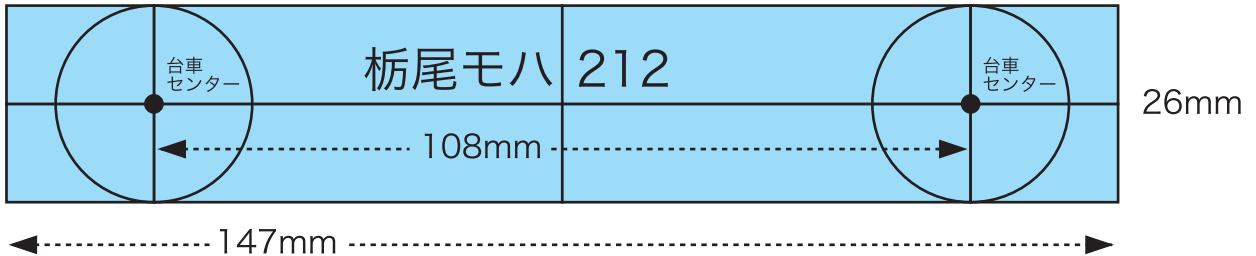
●下電での最大車輛（鉄道線）

ワールド工芸製 越後交通栃尾線のサイズを最大とします。

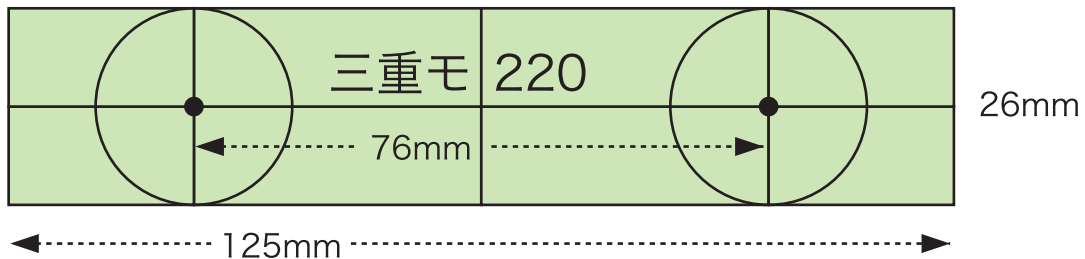
全長147mm、幅26mm 台車間108mm

※軌道線用規格は現時点保留。各車輛データ集積後に決定いたします。

■オイラン車用型紙図 栃尾線モハ212



■オイラン車用型紙図 北勢線モニ220



●動力

Nゲージ車輛動力、もしくは同等の走行性能での運転になります。（要DCC化）

※全軸集電であり、トミックスポイントをトラブルなく通過できる車輛が条件になります。
特に公開運転の場合などでは、事前車検制度導入を検討してます。
(10回中 10回未停車での通過等)

※HOナロー用車輪はほぼトミックスポイント通過が難しいです。必ず事前に指定線路で確認してください。
また、ワールド工芸製キットの製作で、車輪圧入ではバックゲージなどに充分注意のこと。押し込みすぎるとポイント通過などでショートします。

●カプラー

Nゲージ用ケーディーカプラー使用。高さも同等。

※台車マウント推奨。

●カラーリング

下電指定のカラー使用。塗り分け線などは自由。

※単色の場合は下記見本の下段色使用 ※3色混合など奇抜な色、塗り分け等の場合は強制退場（廃車）もあります。

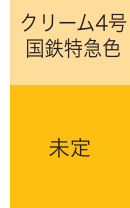
●旧塗装



●新塗装



●優等列車色

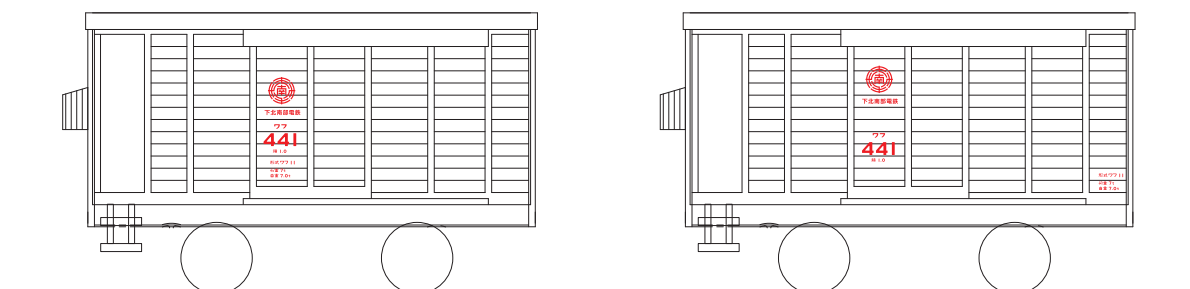
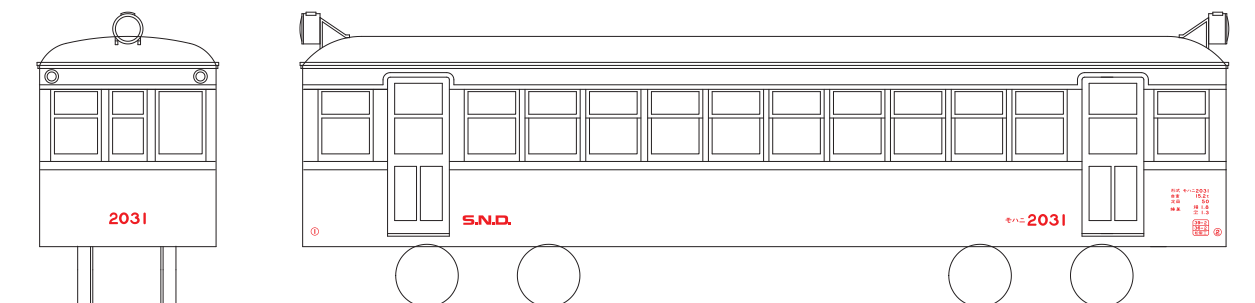
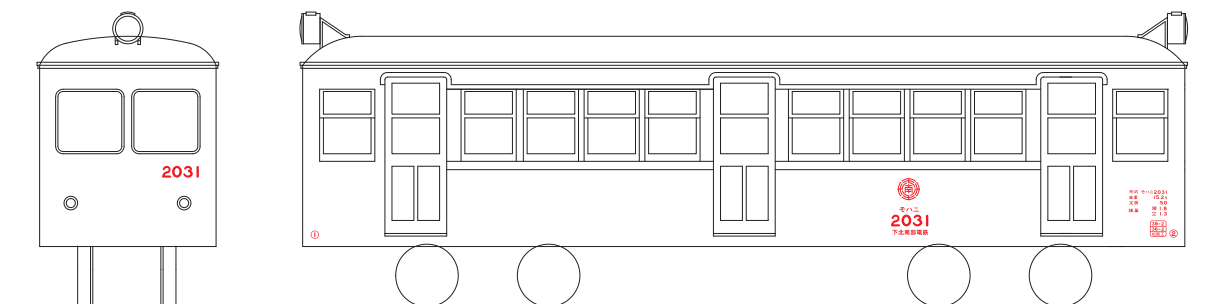
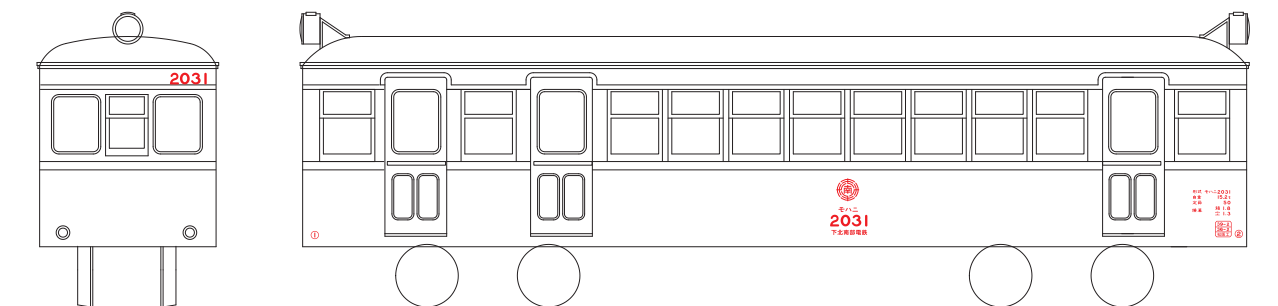


●機関車 貨車



レタリング規格

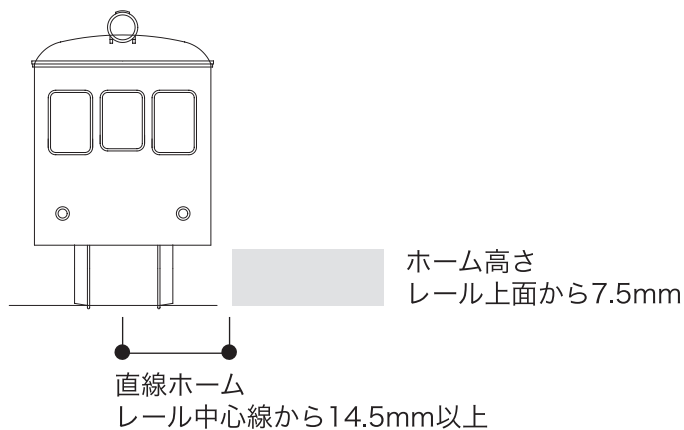
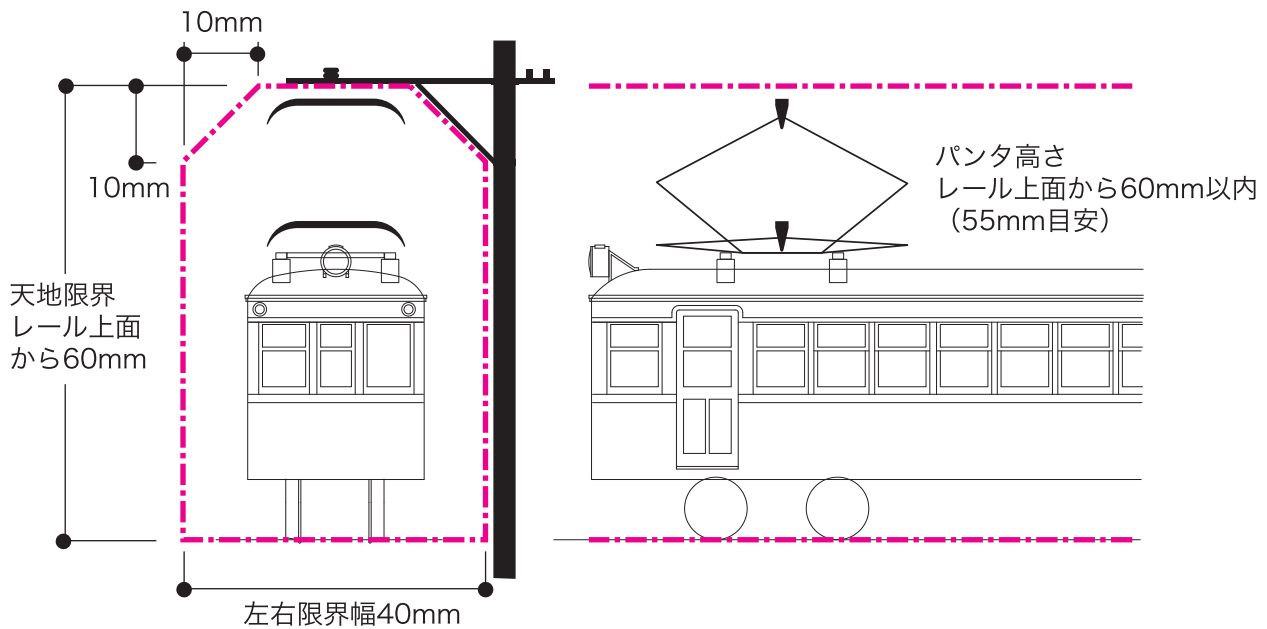
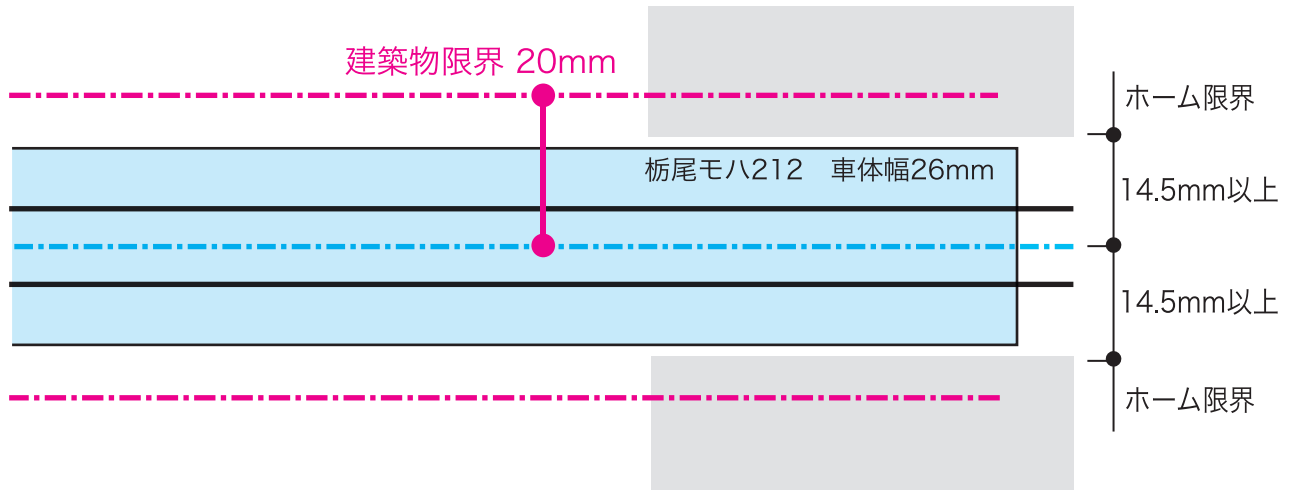
●マーク・ナンバー等の位置目安です



建築限界（鉄道線用）

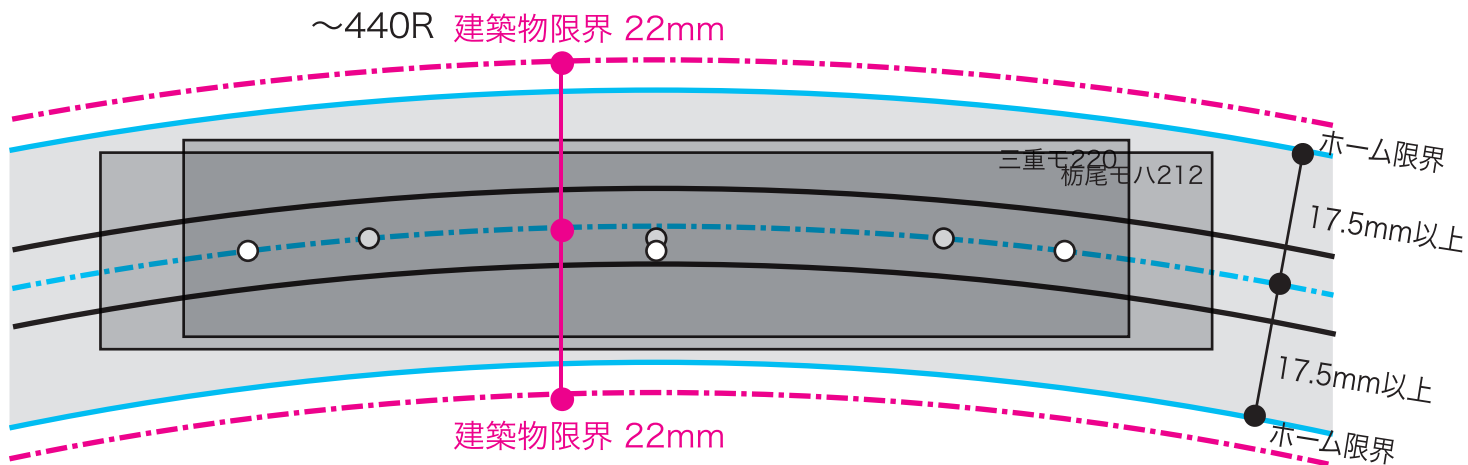
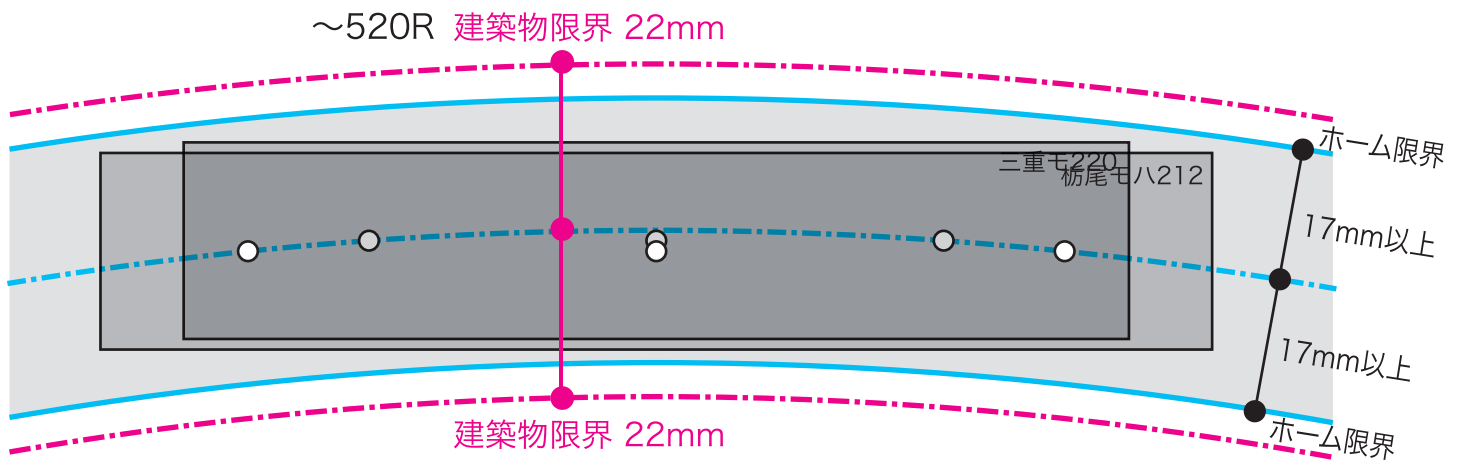
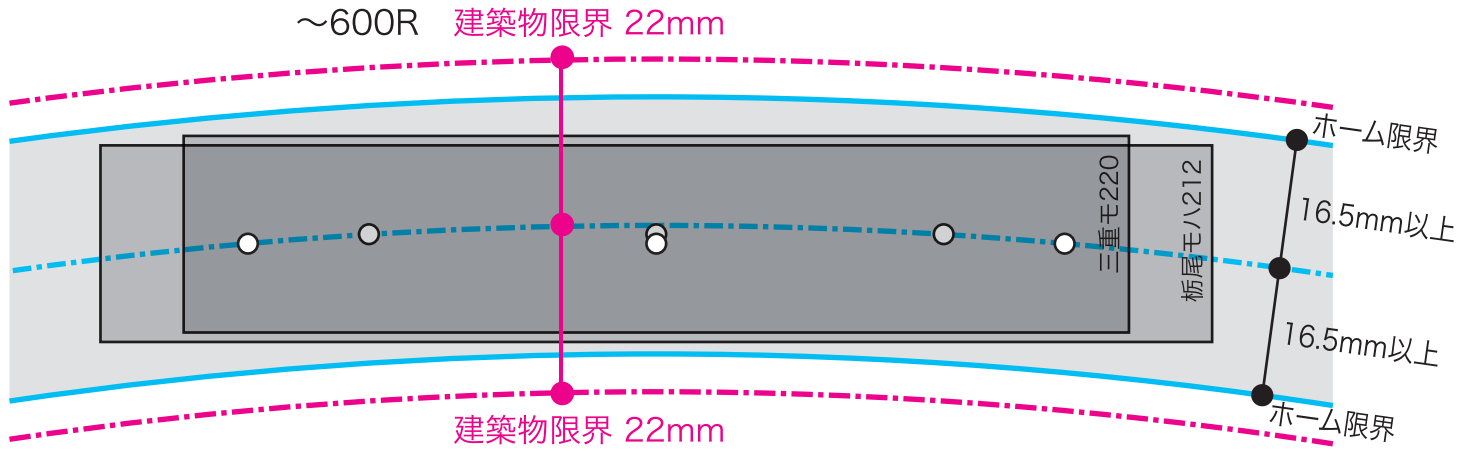
●直線の場合

※このサイズを厳守してください。
また、車両も規格以内走行を事前確認してください。

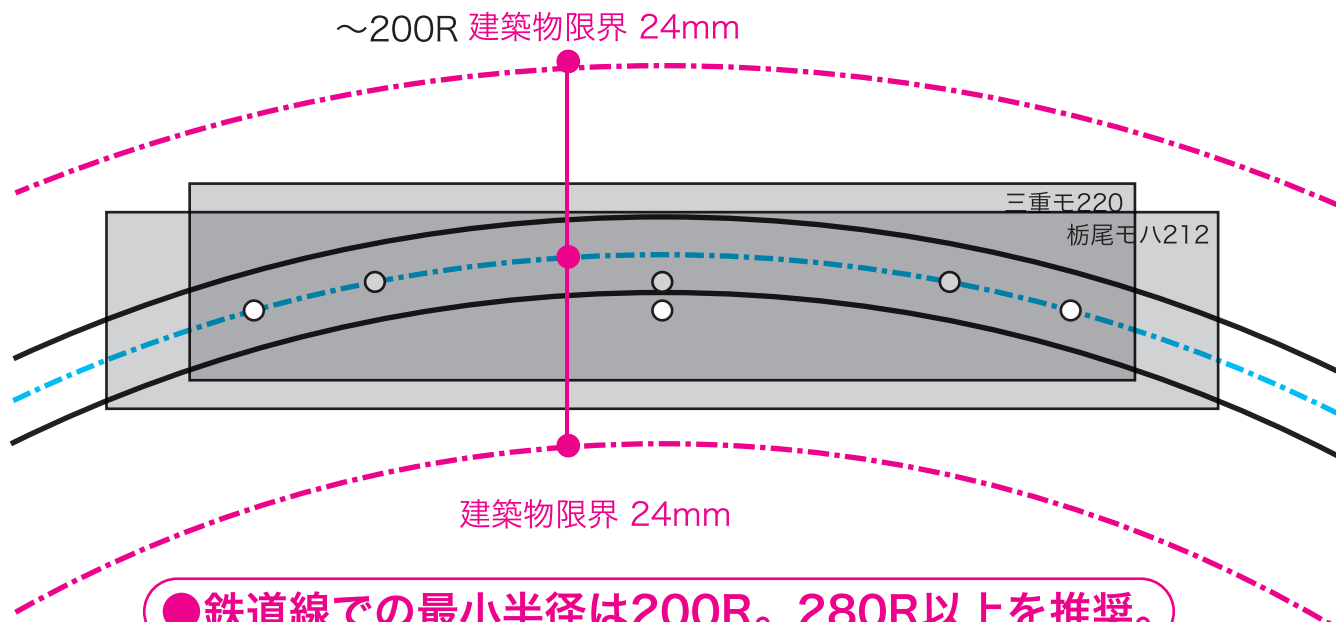
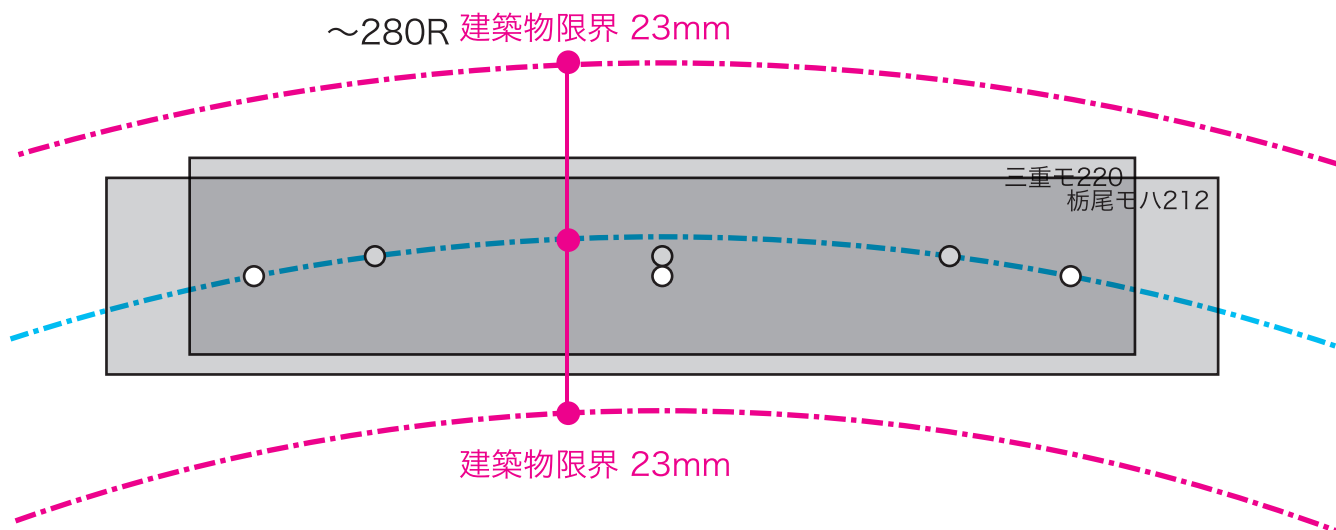
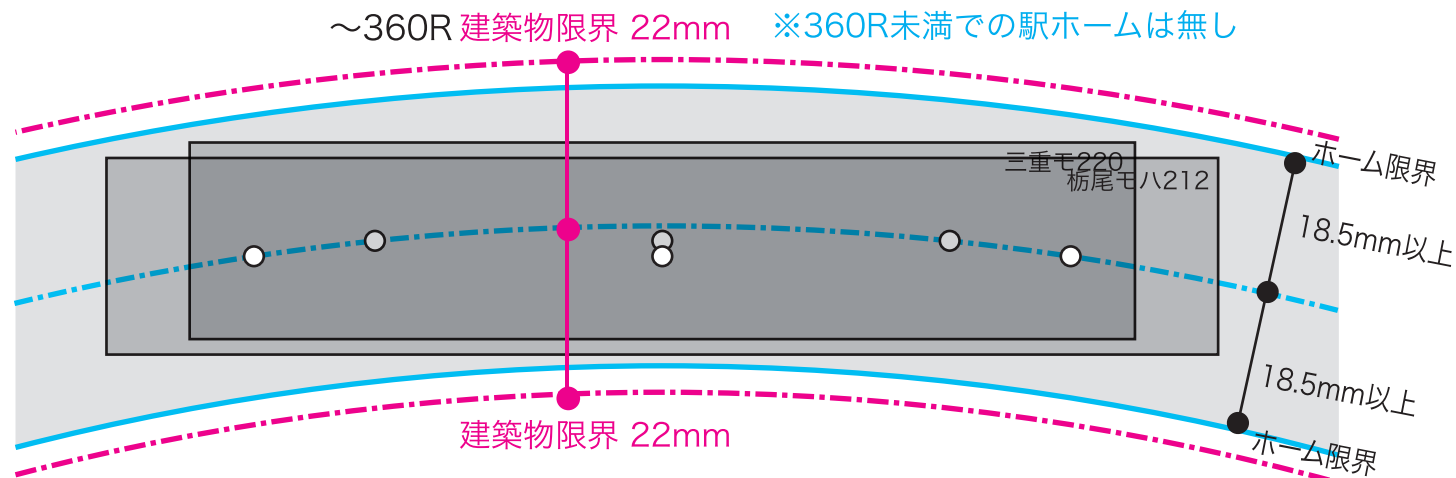


建築限界(鉄道線用)

●曲線の場合-1



●曲線の場合 -2

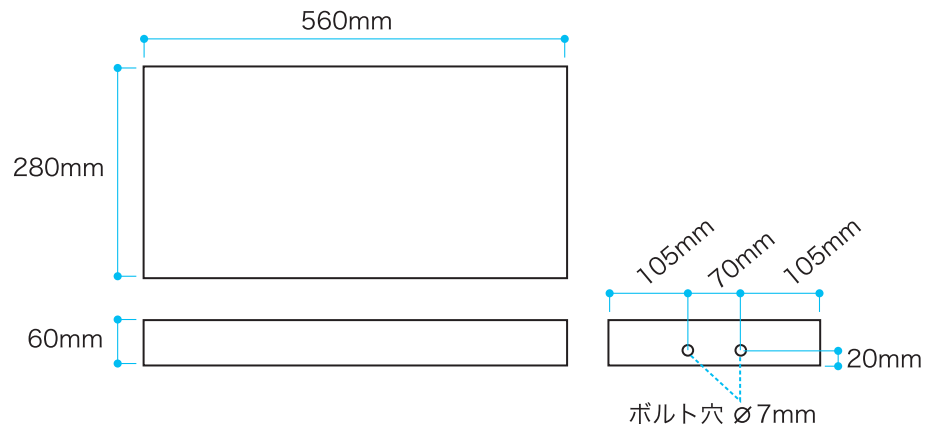


●鉄道線での最小半径は200R。280R以上を推奨。

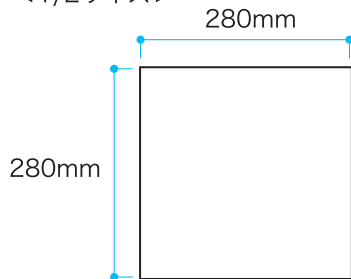
※280R以下の場合、将来的に小型車用支線扱いになる場合があります。

ベース台の規格

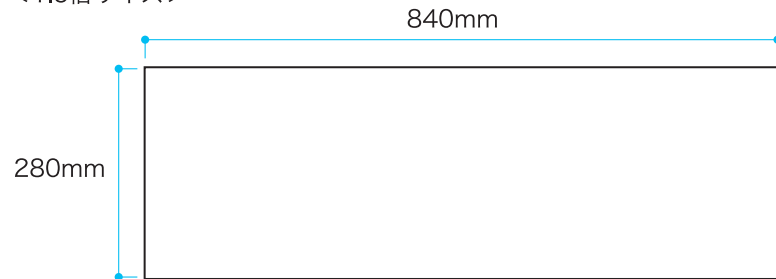
●基本直線サイズ (560×280)



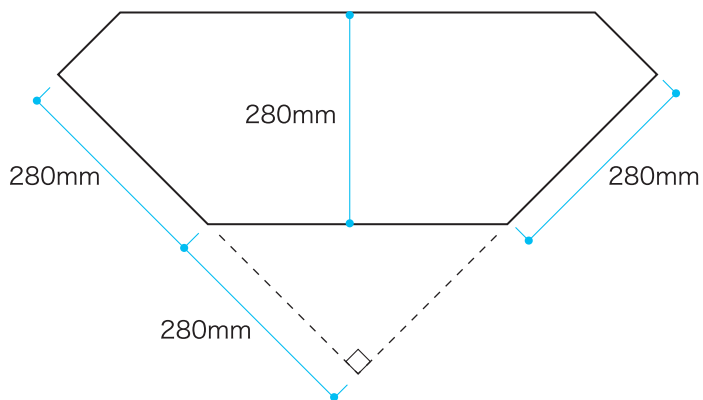
<1/2サイズ>



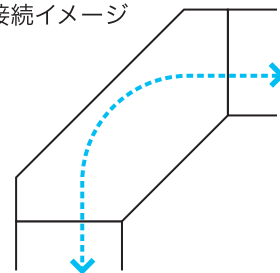
<1.5倍サイズ>



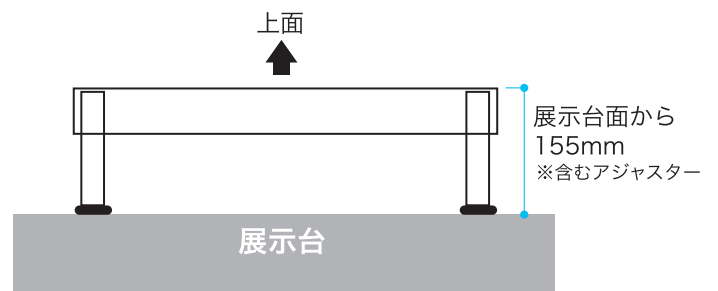
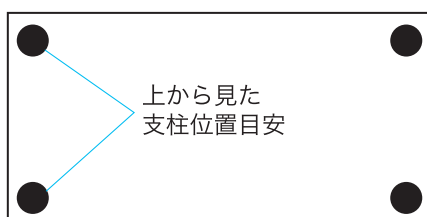
●基本コーナーサイズ (560×280)



■接続イメージ

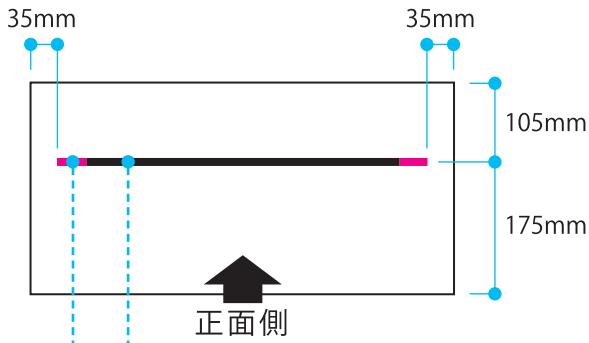


●支柱位置、高さ



レールの設置

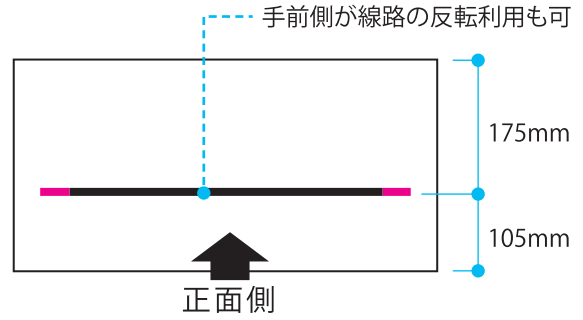
●直線モジュールと接続位置



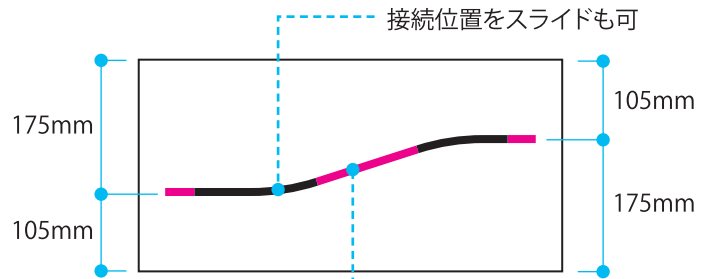
正面側

中間部分はフレキシブルレール使用可
(トミックスレール推奨)

接続部分は
トミックスレール使用



正面側

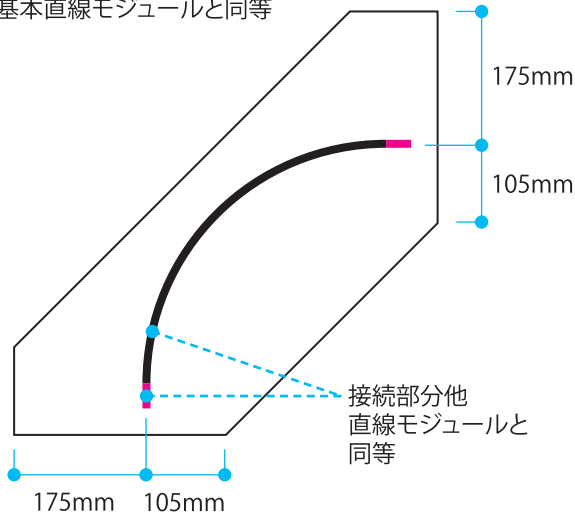


S字の場合、直線部分を組み込むこと。

- 目安 280R: 140mm
- 354R: 99mm
- 541R: 70~0mm

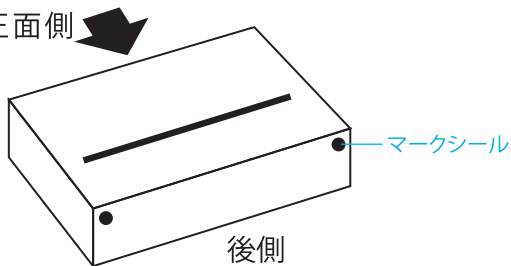
●曲線モジュールと接続位置

※基本直線モジュールと同等



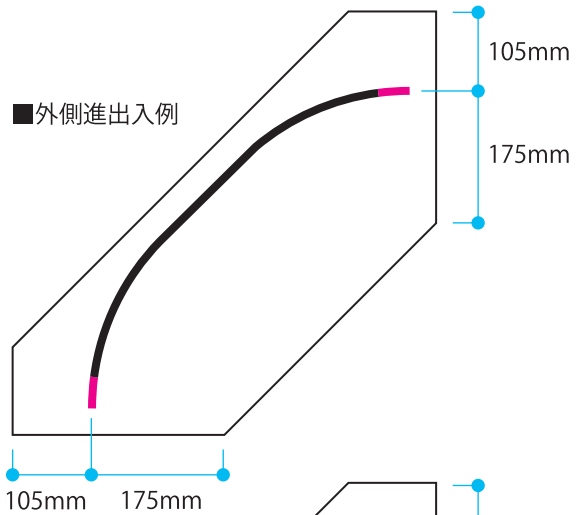
接続部分他
直線モジュールと
同等

正面側



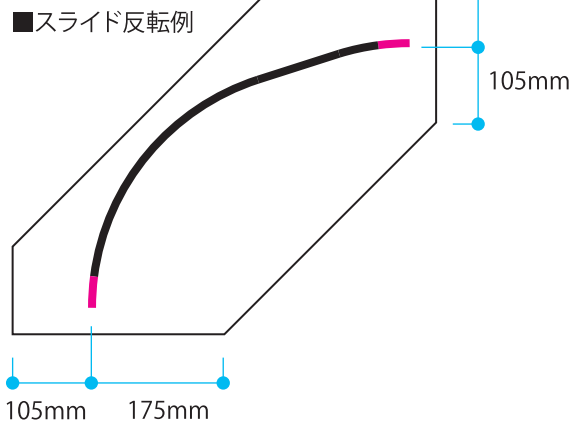
後側

※後日モジュール後側左右カドにマークを入れます。
今のところ文房具用白丸シールを予定しています。
後述の接続時、電気結線等で迷わないようにするためです。



■外側進出入例

105mm 175mm



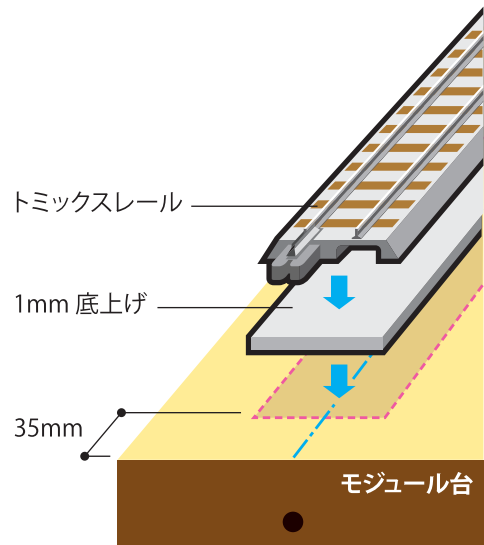
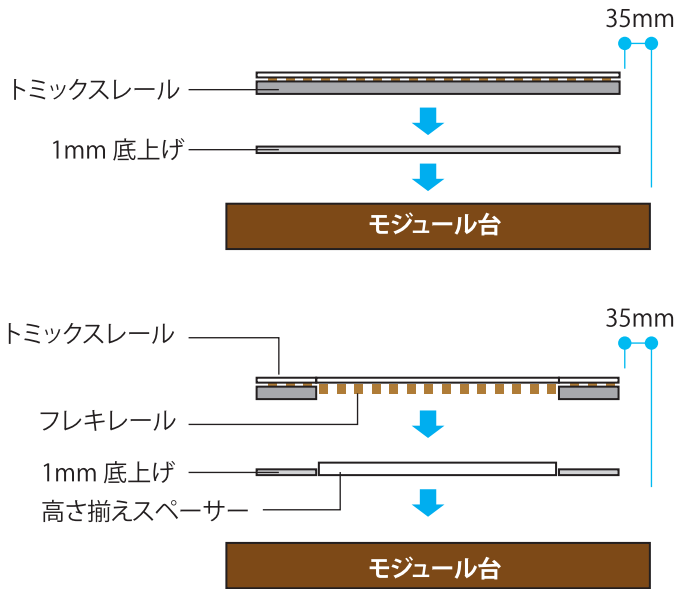
■スライド反転例

105mm 175mm

レールの設置2 高さ規定・フィーダー規定

●トミックスレール下に1mmスペーサーを敷きます。

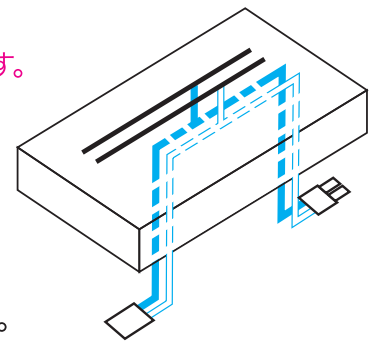
※フレキシブルレール等、使用レール状況での調整は各自の責任で常に高さを揃える。



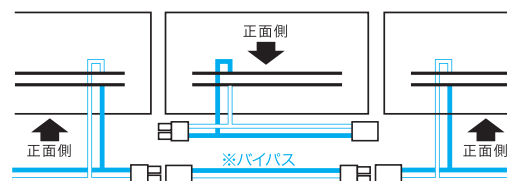
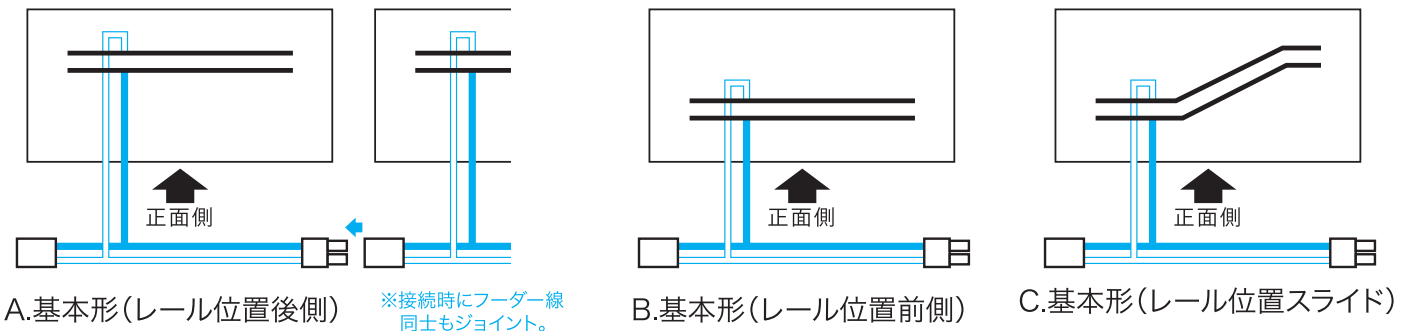
スペーサー参考素材：
コルクボード、イラストレーションボード等

●フィーダー線の組み込み ※モジュール間の引き通し線としても利用します。

フィーダー線はモジュール裏側に這わし、線路接続方向に向け各ソケットを下方に出します。



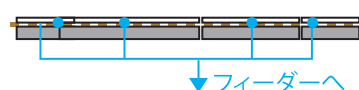
各自設定したモジュール正面を基準に下略図に基づいて結線してください。



※.場合により反転利用時はフィーダーを接続しません。
隣接するモジュール間にバイパス結線します。

※モジュール上で各レールブロック間に通電用補助バイパス線を組み込むことを推奨します。

●トミックスレール

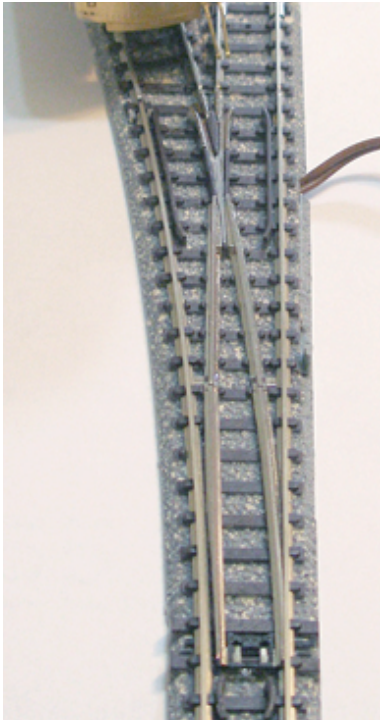


●トミックス+フレキレール

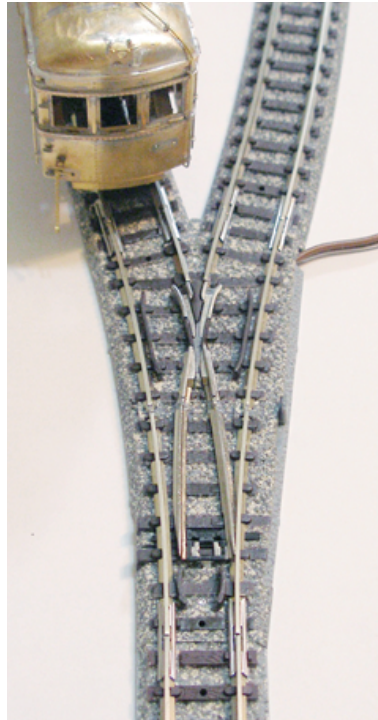


使用レール ポイントの規定

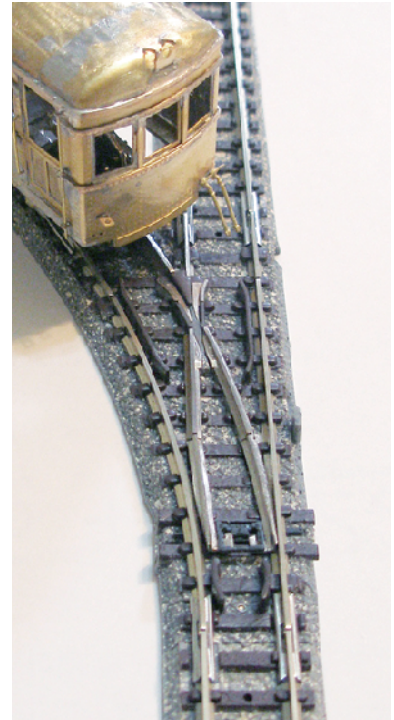
- モジュール間接続レールはトミックス70mm使用
※ブロック分けのためにギャップレールの場合有
- ポイントにはトミックス製を使用



1271・1272・1215・1216
電動ポイントN-PR5 41-15(F)
※HOナロー車両はほぼ通過不能です。
Nゲージでの標準サイズポイントです。
おそらく下電での使用率が高いです。



1240
電動Y字ポイントN-PY2 80-15(F)
※HOナロー車両はほぼ通過不能です。
下電での使用率が高いですので、この
ポイント通過が条件になります。
※完全選択式表示は無いのですが、実質的には同仕様です。

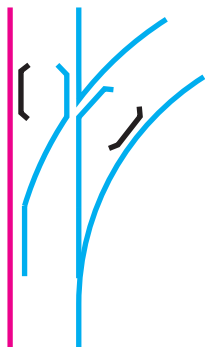


1231
ミニ電動ポイントPR140-30(F)
現段階では使用できません。
特に鉄道線車両通過不能。

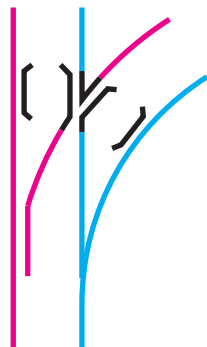
※ポイントは必ず完全選択式の新製品を使用。グレー道床でも旧製品がありますので注意。

●完全選択式とは？

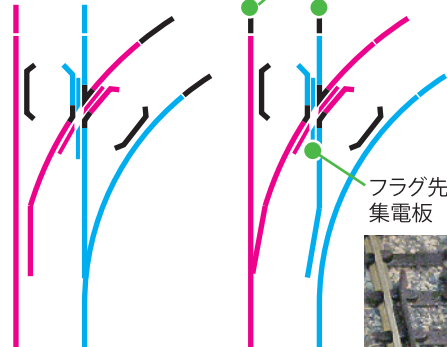
トミックスポイントで採用してます完全選択式ポイントは、スプリングポイントとして利用で採用しました。



選択式ポイント
<篠原、ピコ、トミックス旧製品など>



非選択式ポイント
<カトーなど>



完全選択式ポイント
<新トミックス製>

この部分
ポイント開通方向のみ通電

フラグ先端での
集電板

